

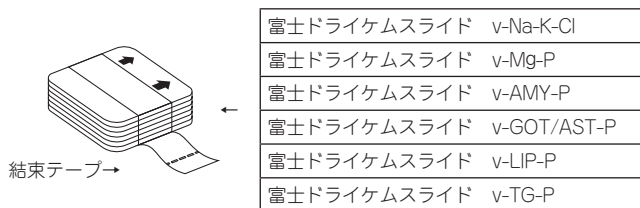
【一般的な注意】

- ア. 本製品は、動物用体外診断用でありそれ以外の目的で使用しないで下さい。
 イ. 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断して下さい。
 ウ. 添付文書以外での使用方法については保証を致しません。
 エ. 使用する機器の添付文書及び取扱説明書をよく読んでから使用して下さい。
 オ. 構成品である富士ドライケムスライド(以下、「スライド」と記載)の添付文書についても必ず参照して使用して下さい。

構成品の販売名	一般的名称	略称
富士ドライケムスライド v-TG-P	血液検査用トリグリセライドキット	TG
富士ドライケムスライド v-LIP-P	血液検査用リパーゼキット	LIP
富士ドライケムスライド v-GOT/AST-P	血液検査用アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼキット	GOT/AST
富士ドライケムスライド v-AMY-P	血液検査用アミラーゼキット	AMY
富士ドライケムスライド v-Mg-P	血液検査用マグネシウムキット	Mg
富士ドライケムスライド v-Na-K-Cl	血液検査用ナトリウムキット 血液検査用カリウムキット 血液検査用クロールキット	Na-K-Cl

【形状・構造等(キットの構成)】

本品の構造は、下図の通りになります。



【反応系関与する成分】

各スライドの添付文書を参照して下さい。

*【使用目的】

イヌ及びネコの血清、血漿中の中性脂肪濃度、リパーゼ活性、グルタミック・オキザロアセティック・トランスアミナーゼ活性、アミラーゼ活性、マグネシウム濃度、ナトリウム濃度、カリウム濃度、クロール濃度の測定

【測定原理】

各スライドの添付文書を参照して下さい。

【操作上の注意】

【検体】

- 採血後は速やかに測定して下さい。
- 抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンNaを使用するときは血液1mLあたり10単位以下、ヘパリンLiを使用するときは血液1mLあたり50単位以下にすること。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。
- フィブリン等の沈澱物のない血清又は血漿を使用して下さい。
- Na⁺の値が低く、同時にCl⁻値が低い検体では、フリーなNa⁺イオンの一部がHCO₃⁻と結合し、非解離のNaHCO₃になり、その結果、電極法によるNa⁺測定値は蛍光法によるNa⁺測定値よりも低くなる場合があることが知られています。
- 本品は臍リパーゼ特異性が高いため、臍特異性の低い試薬とは相関が認められません。
- 希釈はしないで下さい。

【妨害物質等】

富士ドライケムスライド v-TG-P

- 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。
 アスコルビン酸 ~10mg/dL ヘモグロビン ~500mg/dL
 ビリルビン ~20mg/dL 総タンパク 6.0~9.5g/dL
- グリセロールを投与された患者の検体は、著しく高値となるため測定できません。
- 強心剤である塩酸ドブタミン及び塩酸ドパミンは負の影響を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-LIP-P

各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。

アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~20mg/dL
 総タンパク 4.0~9.5g/dL グリセロール ~4.6mg/dL

富士ドライケムスライド v-GOT/AST-P

- 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。
 アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~20mg/dL
 総タンパク 4.0~9.5g/dL ビルビン酸 ~2mg/dL
- 強心剤である塩酸ドブタミン及び塩酸ドパミンは負の影響を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-AMY-P

- 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。
 アスコルビン酸 ~10mg/dL ビリルビン ~15mg/dL
 総タンパク 4.0~9.5g/dL グルコース ~300mg/dL
- マルトースは負の誤差を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-Mg-P

- 各物質について、以下の濃度範囲内では著しい影響は見られませんでした。
 アスコルビン酸 ~10mg/dL Ca 4.0~12.0mg/dL
 ビリルビン ~10mg/dL 総タンパク 5.0~9.0g/dL
- 強心剤である塩酸ドブタミンは負の影響を与える場合があります。

富士ドライケムスライド v-Na-K-Cl

- 塩化ベンザルコニウム等の逆性石けん、及びアルコール類は測定値に正誤差を与えますので、検体取り扱い時に混入しないように注意して下さい。
- Br⁻、I⁻イオンが含まれる検体においては、Cl⁻の測定値に誤差を与える場合があります。これらのイオンを含む医薬品を使用中の患者の場合は注意して下さい。
- アスピリンを、用法用量を超えて大量に服用した患者の検体はCl⁻の測定値に正誤差を与える場合があります。

【その他】

本品は、富士ドライケム生化学分析装置(電解質測定機能付き)専用試薬です。

【用法・用量(操作方法)】

【スライドと参照液REの準備】

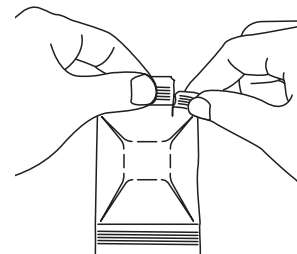
使用時に必要数だけ冷蔵庫より取り出し、室温に戻してからパッケージを開封して下さい。開封後は、速やかに使用して下さい。参照液REを室温に戻してから開封して下さい。

【測定に必要な器具・器材・試薬等】

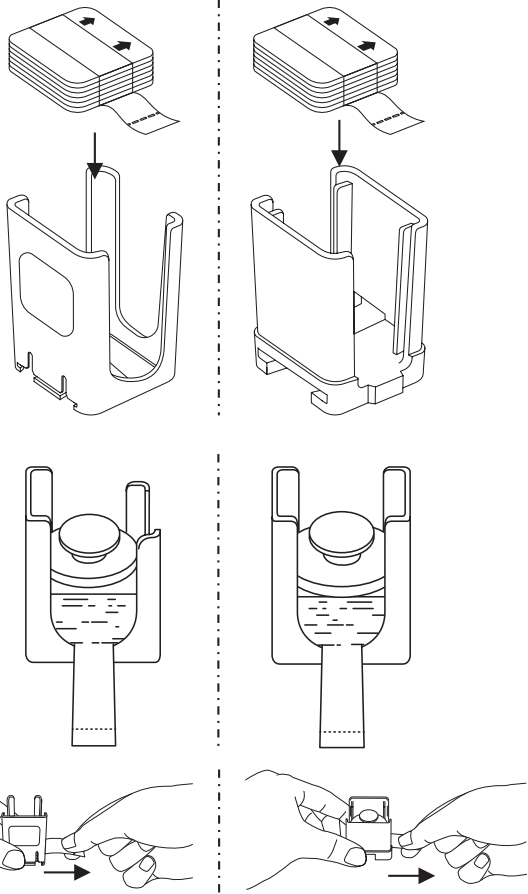
- 試薬 : 富士ドライケムスライド スクリーニング+9
 : 富士ドライケム電解質参照液RE(別売品)
- 使用できる測定機 : 富士ドライケム生化学分析装置(電解質測定機能付き)
 ただし、富士ドライケム5500V/富士ドライケム3000V/富士ドライケム3500V/富士ドライケム7000Vを除く
- その他の器材 : 富士ドライケムQCカード(付属品)
 : 富士ドライケムクリーンチップ又は
 : 富士ドライケムオートチップ

【測定操作法】

- 「V字型」の切り込みからゆっくりとパッケージを開封します。



- パッケージから取り出したスライドを結束テープの端がスライドカートリッジの外側に出るように入れます。
 ※測定機によりカートリッジ形状が異なりますので、下図を参照下さい。
- スライドの上にスライドウェイトを置いて下さい。
- 結束テープの端を持ち、スライドカートリッジからテープを引っ張り取り除きます



5. 付属品の富士ドライケムQCカードを専用測定機のカードリーダー部に読み込ませ、次いでQCカードに対応したスライドと富士ドライケム電解質参照液REを専用測定機にセットし、測定を開始します。

【測定結果の判定法】

基準範囲は検査対象の母集団によって異なりますので、各検査室で基準範囲を設定することをおすすめします。参考正常値(基準範囲)は各スライドの添付文書を参照下さい。

【性能】

各スライドの添付文書を参照下さい。

【使用上又は取扱い上の注意】

【取扱い上の注意】

検体は感染の恐れのあるものとして取り扱って下さい。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用して下さい。

【使用上の注意】

1. 使用期限を過ぎたスライドは使用しないで下さい。
 2. 本製品は光に対し非常に敏感であるため、開封したスライドは直ちにカートリッジにセットし、測定機付属のスライドウェイトを置いて速やかにご使用下さい。
 3. スライド表面及び裏面の中央部には、直接手を触れないで下さい。
 4. 測定ごとに、一枚のスライドを使用します。血液等を一度点着したスライドは、再使用できません。
 5. QCカードに磁石を近づけないで下さい。
 6. アルミ包装に破損がある場合は使用しないで下さい。
 7. LIP測定値に&マークが表示された場合、検体が測定範囲上限を超えている又は高グリセロール濃度検体の可能性があります。精製水で希釈して測定して下さい。希釈して測定した場合には誤差を生じることがありますので、参考値としてお取り扱い下さい。自動希釈機能付き測定機の場合は、測定機の取扱説明書に従って下さい。
- 以下はNa-K-Clの注意事項
8. スライド表面のブリッジ及び裏面の電極には直接手を触れないで下さい。また、この部分を破損したり、汚したりしないで下さい。
 9. 参照液REについて
 - (1) ふたを開けたままにしておく濃縮するので、必要な量を吸引したら速やかにふたを閉めて下さい。
 - (2) 開封後3か月以内に使用して下さい。
 - (3) 汚染されたり濃縮した場合は、別売の参照液REを使用して下さい。
 - (4) 開封後の保存は容器のふたをしっかりと閉じ、容器を立てて保存して下さい。液漏れ、濃縮の原因になります。
 - (5) 参照液REが誤って目や口に入った場合には、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当てを受けて下さい。
 - (6) 参照液REは保存剤として0.01%のアジ化ナトリウムを含みますので、残った液を廃棄する際は大量の水と共に流して下さい。
 10. 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果と合わせて総合的に判断して下さい。結果が「+OR」または「-OR」とエラー表示された場合、

エラーの発生の方によっては本当に高い、低いと断定できない場合があります。

【廃棄上の注意】

本製品を使用済み後、廃棄する場合は感染性産業廃棄物に該当しますので、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、焼却、熔融、滅菌、消毒等の処理をして下さい。また、委託して行う場合は、特別管理産業廃棄物処分業の免許を持った業者に、特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて処理依頼をして下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

- (1) 貯蔵方法：遮光した気密容器(未開封の個別包装)で、冷蔵庫(2~8℃)に保存して下さい。
- (2) スライド有効期間：製造後1年6か月、使用期限は外箱に記載してあります。

【包装単位】

6枚/袋×6袋(個別包装)

【問い合わせ先】

** 富士フィルム メディカル株式会社

TEL. 03-6419-8035 FAX. 03-5469-4190

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号

【製造販売元】

製造販売元

富士フィルム株式会社

〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地

TEL. 0120-771669

発売元

富士フィルム メディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号